

大阪 YMCA 大会



大阪 YMCA 大会2022のVISION150座談会

「出会い」と「語らい」の先にあるもの…

「そもそも『VISION』って何?」「『使命』や『中期計画』と何がちがうの?」「誰のため?」「何のため?」こういった議論から「VISION委員会」がスタートしたのが2021年11月でした。

大阪YMCAが創立150年を迎える2032年に、この大阪YMCAがどうあるべきか、どうありたいかを示す「VISION150」を策定するため、レイパーソンとスタッフの協働により、1年半に渡り、議論と作業を進めてきました。現在は、今秋の正式発表に向けた大詰めの時を迎えています。

これまで大阪YMCAでは「VISION2010」と「VISION2020」を策定し、取り組みを進めてきました。共通するキーワードは「ネットワーク型福祉社会の実現」です。私たちはこの考え方を大切にしつつ、10年後の社会をイメージしながら、大阪YMCAの進むべき道を考えてきました。

そして、私たちが大切にしてきたことの1つに、完成したVISIONに、大阪YMCAにつながる

すべての人々が「自分事」として主体的に関わることができ、あらゆる活動場面でVISIONを意識できるものでありたいという願いがありました。

策定過程において、さまざまな人たちの参画を意図しました。例えば、様々な年代のスタッフの皆さんから意見聴取する機会を設けたり、生徒・メンバー・リーダーといった次代を担うユース世代を対象とした座談会を数回実施したりしました。そして、2022年の大阪YMCA大会では座談会メンバー代表によるパネルディスカッションも開催し、みなさんの大阪YMCAに対する思いや願いを受け止めることができました。

あわせて、大阪YMCAがこの140年に渡って脈々と受け継いできた伝統や良さについても再確認し、これからも大切にしていきたい「強み」や、大阪YMCAにしかできないことなどを整理したうえで、今後の進むべき道(=VISION)として集約していくことができました。

こうして、大阪YMCAが事業やプログラムにおいて、これまでもこれからも大切にしていることは『出会い』と『語らい』ではないかと、1つの結論にたどり着きました。今後発表される「VISION150」には、大阪YMCAが『出会い』と『語らい』をあらゆる活動の根幹に据え、その先にある、多くの人々の夢や幸せに導くことができる存在であり続けていきたいという願いをこめました。VISIONは完成して終わりではありません。その実現に向けて、新たな「出会い」と「語らい」をみなさんと一緒に育んでいきたいと考えています。



大阪YMCA VISION150委員
公益財団法人 大阪YMCA
評議員

たなか あつし
田中 淳

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

ユース事業部(公益財団法人) ～YMCAの夏キャンプ！～

北・北摂ウエルネス おかもと やすひろ
岡本 泰宏

グループのみんなが何かを発見！「何なに!?見せて!」そんな会話が生まれている中、少し遠くから見ている子がいます。そっとリーダーが近づいて、何やらお話をしています。少しホッとしたのか笑みがこぼれてから、リーダーと手を繋いで、みんながさっき見ていたものを一緒に見に行きました。「何だろうこれ…」と一緒に観察したり、触ってみたり、小さな一歩が踏み出した瞬間です。また別の場所で、グループのお友だちが何かを発見！「見に行ってみようよ。」と自分からリーダーの手を引いて、みんなの集まる場所へ向かいます。でもみんなが輪になっていて、何を見ているのか見えない。「○○ちゃんにも見せてあげて」とリーダーが声をかけると、グループのみんなが見せてくれました。次は、リーダーやお友だちと一緒に笑みがこぼれます。

YMCAのキャンプには、いつも傍にいてそっと背中を押したり、寄り添ったりしてくれるユースボランティアリーダーの存在があります。“誰かとつながる”ことで温かい気持ちや、楽しい気持ち、新しい発見がたくさん生まれるときにサポートしてくれるリーダー。そんなリーダーと多くのお友だちと共に、この夏は楽しくかけがえのない時間を共に創りましょう！みなさまのご参加をお待ちしております！



サマープログラム 5月31日より受付開始▶



ユース事業部(学校法人) ～英語幼稚園で育まれるもの～

英語幼稚園 すぎやま さとこ
杉山 聡子

土佐堀と天王寺の2か所で展開する大阪YMCA英語幼稚園は、各園の園児は約70名で新しい学年・学期が始まって2か月が経ちました。4月・5月はまだ保護者の方と離れるのが不安で泣いていた子どもたちもようやく園生活に慣れ、一人ひとりのペースで過ごすことができるようになってきました。

英語幼稚園とYMCAの他の保育施設には、内容的に違いはありますが、人生の土台を育む幼児期の子どもたちを預かるということに違いはなく、幼児期の心・体・知性をバランスよく育むことを理念とするYMCAの保育理念が英語幼稚園にも息づいています。

英語の習得を多面的に捉え、早期教育のみに特化するのではなく、様々なアプローチを用いながら総合的に育むことを目標としています。園では、終日、保育者との英語の対話や、“Play Based”(遊びを中心とした)保育が行われています。子どもたちにとって遊ぶことは学ぶことと同義であり、遊びが学びの意欲を高め、保育者とともに子どもたちの社会での主体性や意欲＝エージェンシーを伸ばすことに繋がっていきます。幼児期の子どもたちのエージェンシー

とは、主体的に遊びを創造し、自分の行為を認められ、自分のしたことの意味を説明できる姿とも言えます。日々の保育や活動の中で、子どもたちのもっと知りたい、やってみたい、を引き出す工夫をしています。

英語幼稚園には日本人家庭の子どもたちだけではなく、英語圏ではない外国籍の子どもたちもいます。日本語のわからない子どもたちも一緒に、英語を通じてみんながコミュニケーションをとりあえる場所です。また英語幼稚園の子どもたちは、同じ建物で学ぶ外国人留学生、インターナショナルスクールの学生や教員など、様々な国籍、言葉話す人々に囲まれています。YMCAという場所が特別な意味を持っているのです。

これからの社会では、多様な背景を持つ人と共にいることが当たり前になっていきます。英語幼稚園で育つ子ども達は、英語に対する抵抗感がないだけでなく、いろいろな人と共に過ごすことができる姿勢や態度を自然に身に付けていくことでしょう。

ここで育まれた経験と精神のもと、英語を習得した子どもたちが、自信をもって、活躍する場を自ら切り開いていくことを願っています。



こども園事業部 ～子どもを中心に地域と異世代をつなぐ役割を担う取り組み～

こども園事業部では、「地域に根ざし、地域とつながる」保育の実践に取り組んでいます。子どもたちが自分の住んでいる町で保護者や教職員、そして地域の人に見守られながら、お友だちと関わりあって育っていくことが大切だと考えています。そして、この地域での様々

な人との出会いや触れ合いが、子どもの心の根っこを豊かにしていくことにつながっていきます。今回は、子どもを中心に地域の若い世代から高齢世代をつなぐ「地域とつながる保育」の事業部の活動例と地域の方々への声を紹介いたします。

活動例1 花の日 ～地域に出かける、地域とつながる活動～

活動内容：地域の生活を支えている方に感謝の気持ちを花束にして届ける
活動時期：毎年6月
2023年度実施日：松尾台こども園6/5(月)・しろがねこども園6/8(木)
訪問場所：役場、派出所、消防署、郵便局、動物病院、医療施設、近隣商業施設

しょうぼうしょのみなさんへ

いつも みんなの いのちを まもってくれてありがとう。これからも みんなのことを まもってね！きをつけてがんばってね！ (地域訪問/4歳児園児)

園児のみなさんへ

毎年、「ありがとう」の気持ちがたくさんあふれたきれいな花をありがとうございます。いつもかわいい笑顔に元気をもらっています。(地域訪問/消防隊員)

活動例2 異世代交流 ～地域中学・高校生ふれあい育児体験プログラム～

活動内容：地域の中学・高校生が乳幼児にふれ、生命の大切さを学ぶ
活動時期：毎年5月・7月・9月・12月
受入人数：地域の高校生、中学生 毎年約50名以上が参加

YMCAでの職場体験を通して、働くことの大変さや難しさを実感することができました。また同時に、親や学校の先生など周りの大人の人への尊敬と感謝する気持ちでいっぱいになりました。(異世代交流/地域中学生)

小さな子どもたちと実際に関わることができた、とても貴重な経験でした。(中略)担当の先生から聞いた「何の(誰の)ために、何を大切に働くのか」ということを大切に、将来は保育者を目指したいと思っています。(異世代交流/地域高校生)



ミッション委員会の働き

本部事務局 ふなと てるひさ
船戸 輝久

大阪YMCAでは、ミッションに向き合い、YMCAの源泉であるキリスト教の学びと理解、それをベースにした諸活動の促進のためレイパーソンと教職員からなるミッション委員会が設置されています。主な取り組みは、①各地域のキリスト教活動との連携による取り組みの活性化、②YMCA・YWCA合同祈祷週集会の運営・協力、③年間聖句・讃美歌の選定などです。昨年度は、2月に土佐堀で開催された早天祈祷会でミッション委員会から推薦されたユースボランティアリーダーに初めてメッセージを語っていただき、生き生きとしたYMCA成長ストーリーを共

有することができました。年間聖句・讃美歌の選定では、初めて教職員のオンライン投票結果を参考に選考を行いました。今年度は、合同祈祷週集会の担当が大阪YMCAとなります。日頃、ご協力いただくキリスト教会教職者の方々との連携を強化する仕組み、皆さまが参画しやすい仕組みをつくることで、これらの活動をさらに活性化していくことが期待されています。

※毎月開催している早天祈祷会と例年11月に開催しているYMCA・YWCA合同祈祷週集会はどなたでもご参加いただけます。詳細は同紙のインフォメーションコーナーをご覧ください。

SDGs 取り組み ～地域ESD活動推進拠点～

YMCA総合研究所 副所長 うちやま まさふみ
内山 雅文

文部科学省・環境省は「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に向けて、「ESD推進ネットワーク」の構築を他のESD関係省庁とともに進めています。「ESD推進ネットワーク」は、ESDの広がりや深まりを通じて地域の諸課題の解決と教育の質の向上、持続可能な社会づくりを目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向け、意識、行動変革を進めています。その一環として、ESD推進ネットワークのハブとして全国8箇所に「ESD活動支援センター」を設置し、そのパートナー「地域ESD活動推進拠点」に、YMCA総合研究所及びYMCA阿南国際海洋センター、六甲山YMCA、YMCA呼子高原キャンプ場の4箇所が登録されました。(https://esdcenter.jp/kyoten/ 3月31日現在での掲載は阿南のみ)

大阪YMCAは、各地域・各分野で取り組まれるESDをさまざまな形で支援することで「ESD推進ネットワーク」の中で中核的な役割を果たすことを期待されています。

YMCA阿南
国際海洋センターHP▶



六甲山
YMCA▶



ESD活動支援センター▶
(こちらのサイトから右図を拡大して見ることができます。)



海外出向レポート

2021年から2年間、メトロポリタンYMCAシンガポール・ジャパニーズセクションでプログラムマネージャーをしていました。シンガポール在住の日本人の子どもたちやローカル(現地)の養護施設に通う子どもたちを対象としたウェルネスプログラム、およびファンドレイジング(寄付)・地域ボランティアのYMCA活動に取り組んできました。



シンガポールの街には、中華系の寺院があり、インド街が広がり、ヒジャブを被ったムスリム女性がいちいちあります。また、それぞれの宗教の祝日が定められ、英語・中国語・マレー語など様々な言語を話す人が集まっています。このように多民族・多文化が共存している国のためか、シンガポールに暮らす人々は、互いを受け入れる力が強いと感じました。

異なる宗教的・文化的背景を持つ子どもたちと一緒にキャンププログラムを実施した際には、時間の使い方が違ったり、プログラムへの価値観が違ったりと、戸惑いを感じたこともありました。しかし、お互いが少しずつ歩み寄って同じ時間を共有することで、普段できない経験をすることができ、新しい気づきを得ることができました。“互いを受け入れる”ことを大切にプログラムを展開していくことが、互いに尊重し合い、力を合わせて明るくあたたかい地域社会を形成していくことにつながっているのだと改めて感じました。帰国したいま、日本の文化とシンガポールで感じたことを互いに組み合わせ、YMCA運動を進めていきたいと思えます。

やまぐち
山口 ひかる

(出向期間：2021年度～2022年度)



右から4番目が山口スタッフ

山口さんからバトンを受け、シンガポールに来て数か月が過ぎました。多様な文化に触れて、様々な宗教を感じ、それぞれの価値観を感じながら過ごしています。

メトロポリタンYMCAシンガポールは現在若い世代の育成に力を入れています。

スポーツを通しての指導だけでなく、Z世代の子どもたちがどのように育ってリーダーシップを発揮するのかを学び、日本でも必要とされるチェンジメーカーの育成につなげたいです。さらに寄付金等の資金を集めて実施するファンドプログラムも多く、そのノウハウも学びたいと思えます。



なみき さとこ
並木 聡子

(出向期間：2023年度～)

インフォメーション

第350回 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。祈祷会の後、朝食会を予定しています。

日時：2023年6月16日(金) 7:30～8:30

証し：高木 宏之さん(元YMCAリーダー)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

参加費：300円

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 本部事務局 総務
TEL：06-6441-0894
E-mail：info@osakaymca.org

土佐堀YMCAアフタースクール

～各ご家庭の子育て応援中！～

6/1～ 2024年度新メンバー募集スタート

YMCAアフタースクールでは、自分や他者、環境に自ら関わることで学び得られる「原体験」による、一人ひとりの「みつかる・つながる・よくなっていく」ことの実現を目指しています。指導者が下校時に各小学校までお迎えに行き、希望者はYMCAの水泳・体育クラスに参加できます。土佐堀YMCAアフタースクールで共に生活をするアフタースクールのメンバーを募集しています。また、指導者、ボランティアも募集中です。お気軽にお問い合わせください。



土佐堀YMCAアフタースクール
TEL：06-6441-0895

ホームページは
こちらから▶



会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2023年4月度報告(敬称略)

【新規会員】

芝原 正之助
鈴木 将真
和田 隆一

【継続会員】

飯沼 眞
井之上 芳雄
入江 保夫
上西 卓
植野 正弘
上野 由貴

宇野 義男
大岸 弘子
樫本 高廣
北村 知三
木下 康生
木村 容子
芝田 光雄
卜田 昭子
卜田 啓三
小路 修
隅田 保
高田 智大
丹吾 礼

鉄谷 明
寺岡 博也
外山 智貴
中村 勝吾
中村 隆幸
西野 陽一
西村 博子

則武 秀尚
橋本 圭子
橋本 照夫
長谷川 ゆかり
東浦 巧
福山 正和
藤井 みどり

藤岡 宏樹
部坂 仁
松倉 幸作
松下 徹
松野 時彦
山原 雅弘

【継続賛助会員】

株式会社朝日新聞社 大阪本社
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
株式会社エンル石油大阪販売所
双葉電気通信株式会社

大阪YMCA
ホームページ



ボランティア
スクエア

